

OJT研修事例

NPO法人
グラウンドワーク三島
静岡県三島市

三島市内の河川が汚染されていることに心を痛めていた地元の8市民団体が、英国発祥のグラウンドワーク手法を参考に、1992年(平成4年)、日本国内でいち早く活動組織を発足させました。「市民・企業・行政のパートナーシップ」を主眼に、ドブ川となった源兵衛川・桜川などの再生をはじめとし、40以上のプロジェクトを展開し、現在では20の市民団体が参加協力して活動しています。



コミュニケーション能力を高めれば、
地域での社会貢献活動にも拍車がかかる!

インターンシップ事業の本拠地となる三島では、多種多様なOJT研修メニューを用意し、実践的な業務の中でも、各分野で活躍する人や地域住民の人たちとのコミュニケーションをはかることを重視した研修を行いました。

OJT研修内容(1例)	1日目	松毛川観察会、だがしや楽校「手桶などの組み立て体験」準備
	2日目	街中カフェ野菜市運営補助、環境コミュニティビジネス体験
	3日目	大豆畑での援農、だがしや楽校の準備
	4日目	だがしや楽校の運営補助、街中がせせらぎウォークぶらり運営補助
	5日目	フォローアップ研修運営補助、まとめ
研修期間	8月19日～9月26日(5日間 x 4回)	
受入れ人数	28名	



実行団体代表者

事務局長 渡辺 豊博さん
NPO法人グラウンドワーク三島



今回のインターンシップには、全国からNPO団体の運営をしている人が多く参加しています。その人たちのほとんどが、事業展開に閉塞感を感じ、ネットワークを広げられない現状に悩んでいます。しかし、OJT研修の過程で、同じ悩みを持つ活動家たちの知識・情報の交換、新たなネットワークづくりも実現し、新たな社会的企業へと躍進するステップを踏み出せたと思います。

現場指導者【松毛川の植栽解説担当者】

会長 菅原 久夫さん
富士山の自然と花を観る会主催/
富士山自然誌研究会



興味を持って、地元地域の植生を知ってもらえることは、とても良いことです。それによって、今まで興味を示さなかった地域環境にも、日々、目を配るようになると思います。このような気遣いが、研修生たちが目指す社会貢献事業の基礎となることを理解してほしいです。もちろん、それ以上に、草花に関心を持ち、在来植物の保護にも取り組んでもらいたいですね。

実地研修(合計24日間)

現場体験を通して
ビジネスプランを練り上げる

実地研修では、地域のNPOやボランティア団体でのOJT研修と、グラウンドワーク三島が提供する課題に基づいての自己研鑽を通じて、自分の所属するNPOなどのマネジメント強化や、新規事業の立ち上げに係るビジネスプランの作成などを行いました。

集合研修を終えた後は、地域のNPOやボランティア団体などのOJT研修と、グラウンドワーク三島が提供する課題に基づいた自己研鑽からなる24日間の実地研修を行いました。

OJT研修においては、環境、まちづくり、農山村振興、中間支援NPOなど、研修生が希望する分野の事業を展開する団体に赴き、実践的な運営ノウハウを身につけました。また課題に基づく自己研鑽では、集合研修やOJT研修での経験・知見を具現化するために、自分の所属するNPOなどのマネジメント強化や、新規事業の立ち上げに係るビジネスプランの作成を行いました。

なお課題に基づく自己研鑽においては、インターネット等を活用した専門家のサポートなどを通して、「点」としての研修生を「線」で結び、また地域ブロックという「面」からも総合的なサポートを展開しました。

「グラウンドワーク・インターンシップ」では、経済的に困

実地研修 合計24日間

OJT研修 (NPOやボランティア団体) 5日間	課題に基づく 自己研鑽 (ご自宅など) 19日間
--------------------------------	-----------------------------------

地域のNPOやボランティア団体などでのOJT研修を通して、地域活動や地域ビジネスの体験値を高めます。

さまざまな学びの集大成として、自分が所属するNPOのマネジメント強化や新規事業の立ち上げなどを行います。

難な方のスキルアップを支援するため、一定の条件を満たす方に活動支援金を提供する制度を設けており、研修期間の最後には、活動支援金対象者のためのフォローアップ研修を開催して、実地研修の進捗状況を確認しました。



環境、まちづくり、農山村振興、中間支援NPOなど、多岐に渡る分野でのOJT研修。全国10カ所の地域ブロック事務所が、地域のNPOやボランティア団体と協力して研修生を受け入れ、充実した研修となりました。